

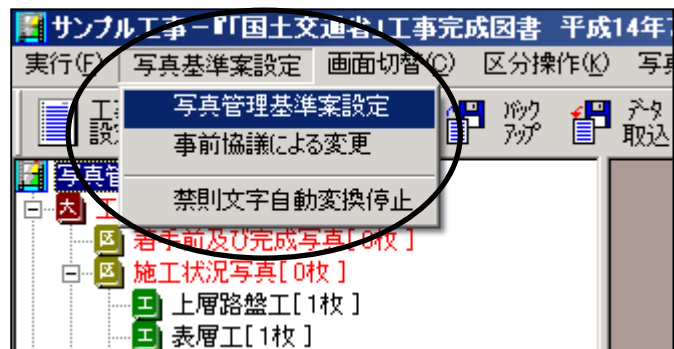
第1章

写真管理 基準を選択 する

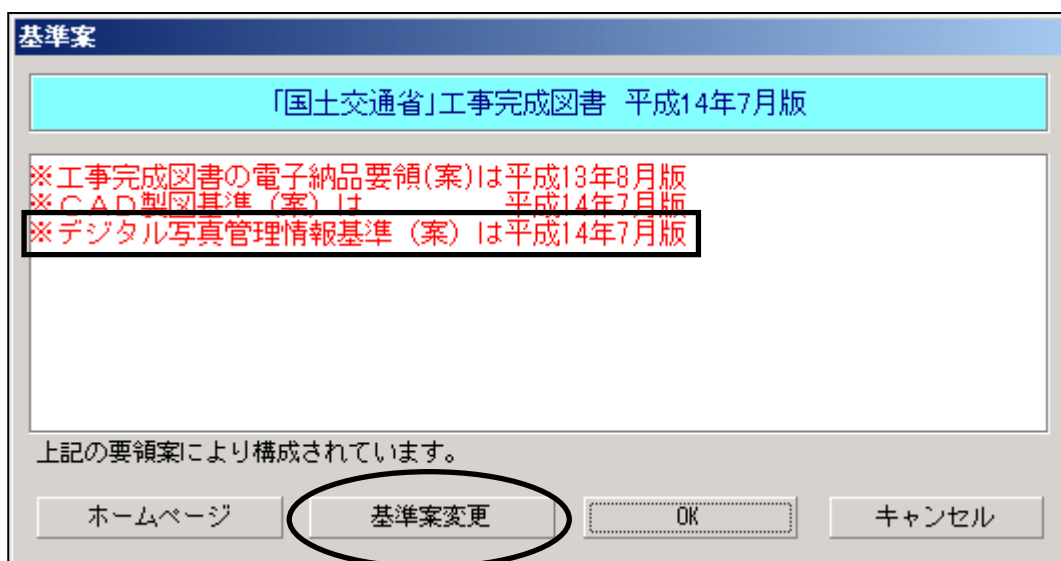
デジタル写真管理情報基準（案）の基準を選択します。
※本手順は「国土交通省 平成16年6月版デジタル写真管理基準(案)」
を例としています。

1. 写真管理基準を確認する

メニューバーの [写真基準案設定] より
[写真管理基準案設定] をクリック
します。



現在選択されている電子納品基準が表示されます。
表示されている「デジタル写真管理情報基準（案）」を確認して、
変更する場合は [基準案変更] をクリックして下さい。
表示されている電子納品基準のままでよろしければ [OK] をクリックして
「第2章 必要な項目を入力する」へ進んで下さい。



2. 写真管理基準を選択する

『要領案』設定」画面が表示されます。
提出先の指定する電子納品基準を選択して [OK] をクリックします。

国土交通省	土木工事	平成16年度 6月版工事完成図書
国土交通省港湾局	電気通信設備	平成16年度 6月版土木設計業務
農林水産省	機械設備工事	平成15年度 7月版工事完成図書
日本道路公団	官庁官庁工事	平成15年度 7月版土木設計業務
北海道		平成14年度 7月版工事完成図書
青森県		平成14年度 7月版土木設計業務
岩手県		平成13年度 8月版工事完成図書
宮城県		平成13年度 8月版土木設計業務
秋田県		
福島県		
茨城県		
栃木県		
群馬県		
埼玉県		

選択した電子納品基準が表示されます。「デジタル写真管理情報基準 (案)」が表示されていることを確認して、よろしければ [OK] をクリックします。

基準案

「国土交通省」工事完成図書 平成16年6月版

※工事完成図書の電子納品要領(案)は平成16年6月版
※CAD製図基準(案)は平成16年6月版
※デジタル写真管理情報基準(案)は平成16年6月版

上記の要領案により構成されています。

ホームページ 基準案変更 OK キャンセル

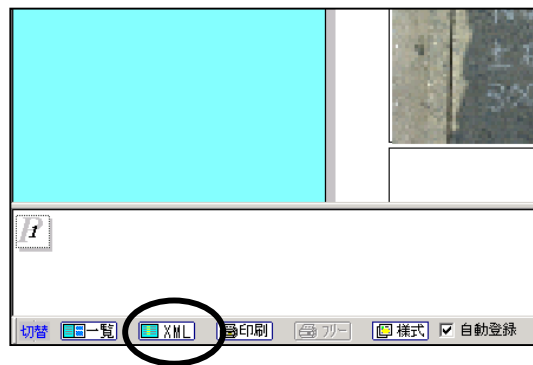
第2章

必要項目を 入力する

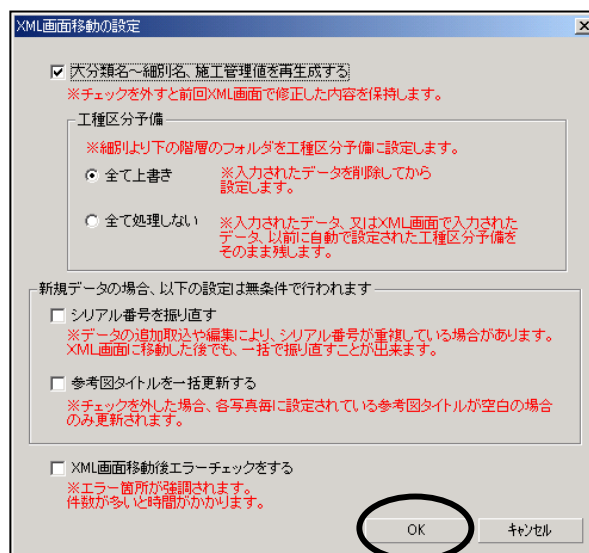
工事情報等の電子納品に必要な項目を入力します。

1. XML 出力画面に切り替える

画面下の切替バーより [XML] をクリックします。

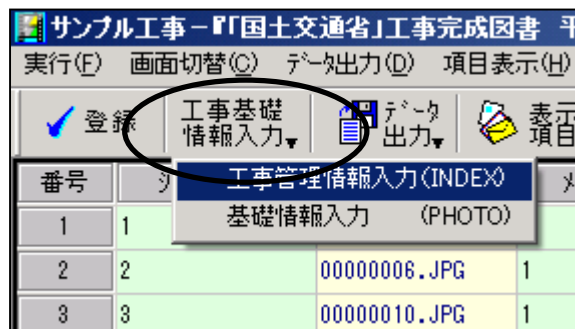


「XML画面移動の設定」画面が表示されます。
各チェック項目を確認後、[OK] をクリック
します。



2. 工事設定を行う

ツールバーの「工事基礎情報入力」をクリックし、「工事管理情報入力(INDEX)」を選択します。



「INDEX_C.XMLの入力」画面が表示されます。
画面右端のスクロールバーをマウスでクリックしながら上下にずらして、それぞれ必要な項目を入力します。



画面左側の項目名の欄が黄色で表示される項目は必須入力項目です。
画面下の「チェック」から入力内容に誤りが無いかどうかの確認が行えます。
「チェック一覧表」に表示されているエラー項目をダブルクリックすると、エラー箇所を表示します。エラー内容を確認の上、適宜修正を行ってください。

The screenshot shows a window titled 'C:\Program Files\Q-1\写真\DATA\0011\INDE_C03.XML'. It contains a table with columns '番号', '項目名', and '設定項目'. The '項目名' column has yellow and cyan background colors. A scroll bar on the right is circled in black. At the bottom, there are buttons for '台帳情報の複写', 'CORINSの読込', 'チェック', '登録', and 'キャンセル'.

番号	項目名	設定項目
13	その他フォルダ名	OTHR
14	その他オリジナルフォルダ情報 +	
15	その他オリジナルファイルフォルダ名	
16	その他オリジナルファイルフォルダ日本...	
17	工事件名等	
18	発注年度	2005
19	工事番号	2001010101
20	工事名称	サンプル工事
21	工事実績システムバージョン番号	6
22	工事分野 参照	下水道
23	工事業種 参照	屋根工事
24	工種-工法型式 +	
25	工種 + 参照	土地造成工事
26	工法型式 +	土地造成工
27	住所情報 +	
28	住所コード + 参照	04102

「工事分野」や「工事業種」等は
[参照]をクリックすると選択方式
で作成できます。

22	工事分野	参照	下水道
23	工事業種	参照	屋根工事
24	工種-工法型式	+	
25	工種	+	参照 土地造成工事
26	工法型式	+	土地造成工

[測地系]と[境界座標]を入力します。

[測地系]へは「00:日本測地系」もしくは、「01:世界測地系（日本測地系 2000）」の
いずれかを選択します。



国土交通省 国土技術政策総合研究所 Q&Aより

http://www.nilim-ed.jp/ga_sys/admin/q_a_index.htm

<A-5>

質問：座標は旧測地と世界測地のどちらを対応させればよいのでしょうか。

回答：座標の対応は次のとおりです。

- (1)「国土交通省公共測量作業規程」に基づく新規（平成14年4月1日以降）の
測量作業の成果→世界測地系
- (2)上記以外→受発注者で協議し、取り扱いを決定して下さい。なお、採用
した測地系を管理ファイルの「予備」等の項目に記入して下さい。（H16. 2. 10）

番号	項目名	設定項目
30	工期開始日	2002-06-01
31	工期終了日	2003-02-16
32	工事内容	掘削工8500m3
33	場所情報	
34	測地系	00:日本測地系
35	水系-路線情報	+
36	対象水系路線名	00:日本測地系 01:世界測地系(日本測地系2000)
37	現道-旧道区分	

「00:日本測地系」か、
「01:世界測地系」を
選択します。

施工現場の境界座標情報を入力します。

番号	項目名	設定項目
49	終点側距離標-m	
50	境界座標情報	
51	西側境界座標経度	1363041
52	東側境界座標経度	1363039
53	北側境界座標緯度	0344408
54	南側境界座標緯度	0344404
55	施設情報	
56	施設名称	

境界座標情報は下記のHPから取得することができます。

<測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス>

<http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html>

矢印ボタンが押された状態で地図中の測量した点をクリックすると、地図中に×印が付き、左下に緯度、経度が表示されます。こちらの数値を入力します。

※[北側座標緯度]、[南側座標経度]は7桁になるように先頭に“0”を入力して下さい。



「測地系」、「境界座標」の内容につきましては「国土交通省平成16年6月工事完成図書の電子納品要領（案）付3-3～」をご参照下さい。

入力が終わりましたら [登録] をクリックして「INDEX_C.XMLの入力」画面を閉じます。

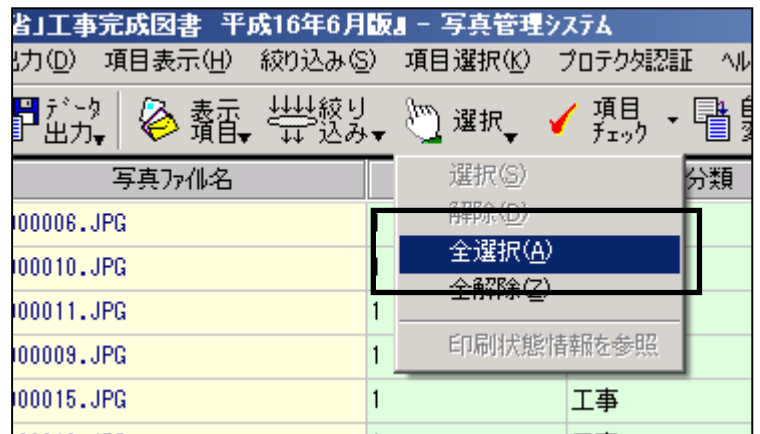
第3章

写真を選択する

電子納品データとして出力する写真を選択します。

1. 写真を選択する

ツールバーの「選択」をクリックし、「全選択」を選択します。



選択された写真は水色で表示されます。

The screenshot shows the main window of the software. The toolbar includes '登録', '工事基礎情報入力', 'データ出力', '表示項目', '絞り込み', '選択', '項目チェック', '自動更新', '情報入力', '写真表示', '終了', and 'HELP'. The main table has columns: '番号', '列番号', '写真ファイル名', '絞り番号', '写真大分類', '写真別称', and '参考図'. The first 10 rows are highlighted in light blue, indicating they are selected. Below the main table is a section for '参考図' with columns '番号', '参考図ファイル名', and '参考図タイトル'. The status bar at the bottom includes '切替', '一覧', 'XML', '印刷', '終了', '様式', and '自動登録'.

番号	列番号	写真ファイル名	絞り番号	写真大分類	写真別称	参考図
1	1	00000008.JPG	1	工事	表層工:施工状況	
2	2	00000010.JPG	1	工事	側溝蓋:施工状況	
3	3	00000011.JPG	1	工事	側溝蓋:施工状況	
4	4	00000009.JPG	1	工事	破損部分:施工状況	
5	5	00000015.JPG	1	工事	側溝蓋:施工状況	
6	6	00000016.JPG	1	工事	側溝蓋:施工状況	
7	7	00000017.JPG	1	工事	破損部分:施工状況	
8	8	00000014.JPG	1	工事	表層工:施工状況	
9	9	00000019.JPG	1	工事	上層路盤工:出来形後測	参考図有り
10	10	00000020.JPG	1	工事	上層路盤工:出来形後測	参考図有り
11	11	00000002.JPG	1	工事	上層路盤工:出来形後測	参考図有り
12	12	00000001.JPG	1	工事	上層路盤工:出来形後測	参考図有り
13	13	00000004.JPG	1	工事	表層工:出来形後測	参考図有り
14	14	00000003.JPG	1	工事	表層工:出来形後測	参考図有り
15	15	00000008.JPG	1	工事	側溝蓋破損後測状況	
16	16	00000007.JPG	1	工事	側溝蓋破損後測状況	
17	17	00000024.JPG	1	工事	側溝蓋破損後測状況	
18	18	00000025.JPG	1	工事	側溝蓋破損後測状況	
19	19	00000022.JPG	1	工事	表層工:出来形後測	参考図有り
20	20	00000023.JPG	1	工事	表層工:出来形後測	参考図有り

第4章

入力内容を チェック する

電子納品データとして出力する写真を選択します。

1. 項目チェックを行う

ツールバーの「項目チェック」をクリックし、入力内容をご確認下さい。



「チェッカー一覧表」に表示されているエラー項目をダブルクリックすると、エラー箇所が表示されます。エラー内容を確認の上、適宜修正を行って下さい。

「このデータには問題ありません」と表示されましたら、「チェッカー一覧表」を画面右上の「×」をクリックして閉じて下さい。



- ・ ピンク色の箇所は誤った入力内容、もしくは未入力になっている箇所ですので必ず入力や修正を行って下さい。
- ・ ツールバーの「自動変換」－「禁則文字変換」により、外字や全角文字を半角文字等の電子納品にあわせた文字に自動変換することができます。

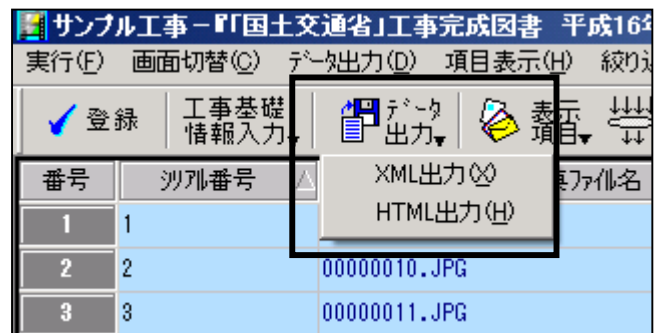
第5章

XML 出力を行う

電子納品データの出力を行います。
写真枚数によっては CD 1 枚に収まらない場合があります。
その場合は、「第6章 分割して出力する」へ進んで下さい。

1. XML出力を行う

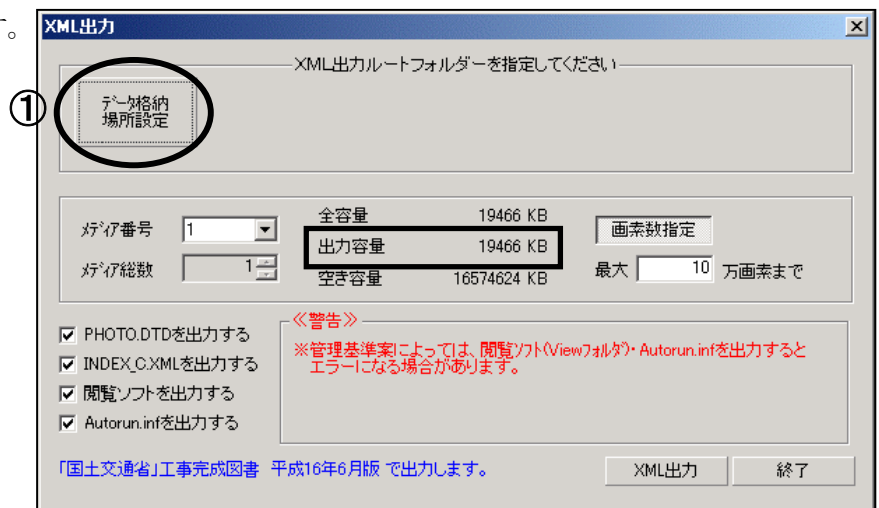
ツールバーの [データ出力] - [XML出力] をクリックします。



- ① 「XML出力」画面が表示されます。
[データ格納場所設定] をクリックします。

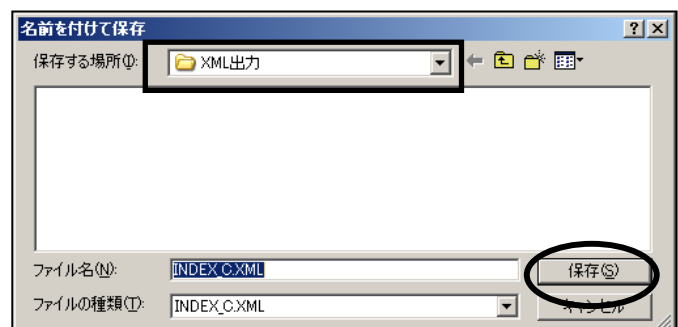


「出力容量」を確認して、
1枚のCD（約700MB）に
収まらない場合、「第6章
分割して出力する」へ
進んで下さい。



データの保存先を設定し、[保存] をクリックします。

「XML出力」画面に戻ります。





出力先のフォルダに Disk1 等のフォルダが作成され、その中に出力されます。
電子納品基準では CD 直下に XML データを出力する必要があるため、CD ドライブを
直接指定しないで下さい。（ハードディスクの任意の場所に出力して下さい。）

- ②「PHOTO.DTDを出力する/閲覧ソフトを出力する/INDEX_C.XMLを出力する/閲覧ソフトを出力する。
/Autorun.infを出力する」等、必要な項目にチェックを付けます。
各設定が終わりましたら [XML 出力] をクリックして下さい。

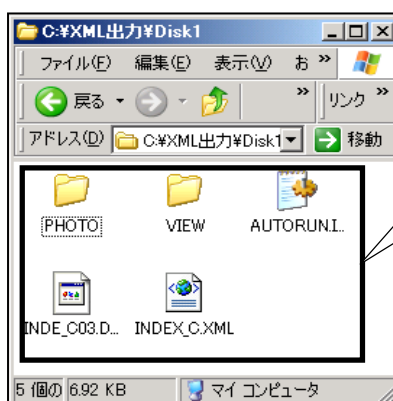


- ・ PHOTO.DTD は出力した XML ファイルを Internet Explorer 等で見る場合に必要なファイルです。
- ・ INDEX_C.XML は発注者が「電子納品、保管管理システム」を使用し、チェックする際に必要なファイルです。
- ・ 「閲覧ソフトを出力する」にチェックを付けると XML のファイルを開覧するソフトが同時に出力されます。「VIEW」フォルダの Plook.exe をダブルクリックして起動します。
- ・ Autoruninf は、閲覧ソフトとセットです。XML 出力した媒体を挿入すると自動的に閲覧ソフトが起動します。

指定されたフォルダに、電子納品データ
が出力されます。
市販されている CD 書き込みソフトを
使用して、提出用の CD を作成して下さい。



Disk1、Disk2 等のフォルダごと CD へ
書き込まず、必ず Disk1 等のフォルダ
内のファイルを CD へ書き込むように
して下さい。



第6章

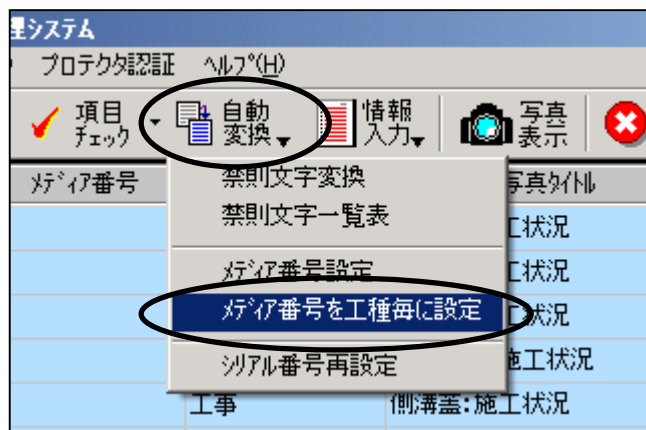
分割して 出力する

電子納品データを複数の CD に分けて XML 出力を行います。

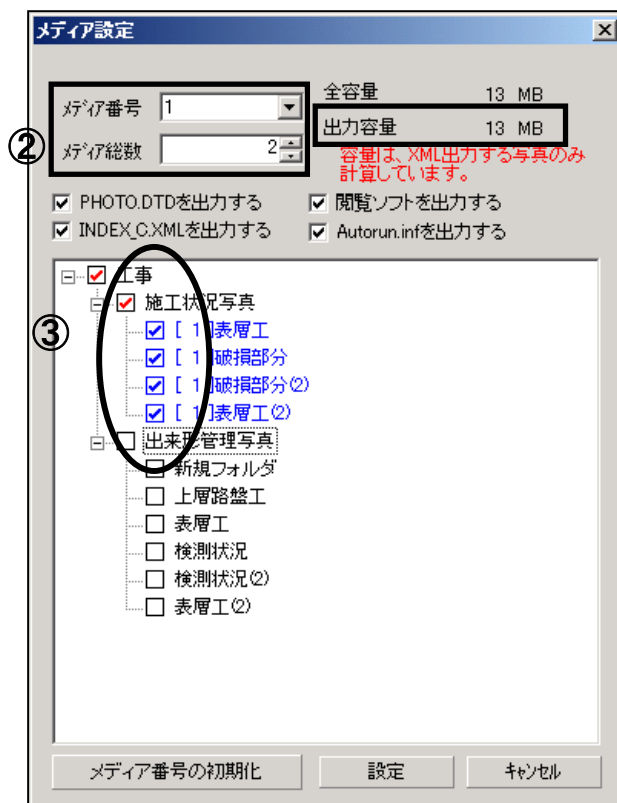
1. メディア番号設定を行う

電子納品データが1枚のCD-Rに入りきらないサイズになった場合、複数のCD-Rに分けて出力します。

- ① ツールバーの「自動変換」→「メディア番号を工種毎に設定」をクリックし、「メディア設定」画面を表示します。



- ② 必要なCDの総枚数を「メディア総数」に設定します。
- ③ 「メディア番号」が「1」になっていることを確認し、「出力容量」に表示されている容量サイズを確認しながら、1枚目に出力する分類にチェックを付けます。



④次に「メディア番号」を「2」に変更して
2枚目に出力する分類にチェックを付けます。④

メディア番号1で選択済みのチェックは
外さないで下さい。



3枚以上に渡る場合は、この作業を出力する
メディア (CD) 枚数に合わせて繰り返し
行って下さい。

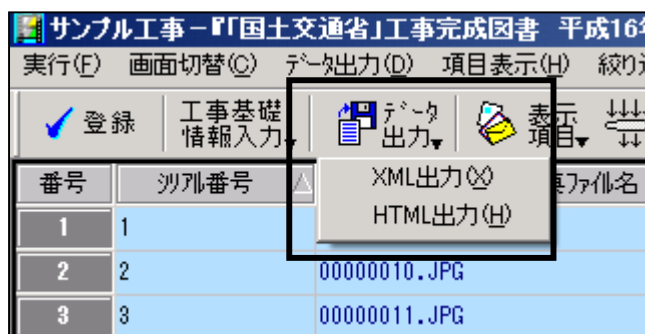
⑤分類へのチェックが終了しましたら、
[設定] をクリックします。

「メディア番号」欄の数字が、「メディア設定」画面で設定した数字になっているかをご確認下さい。

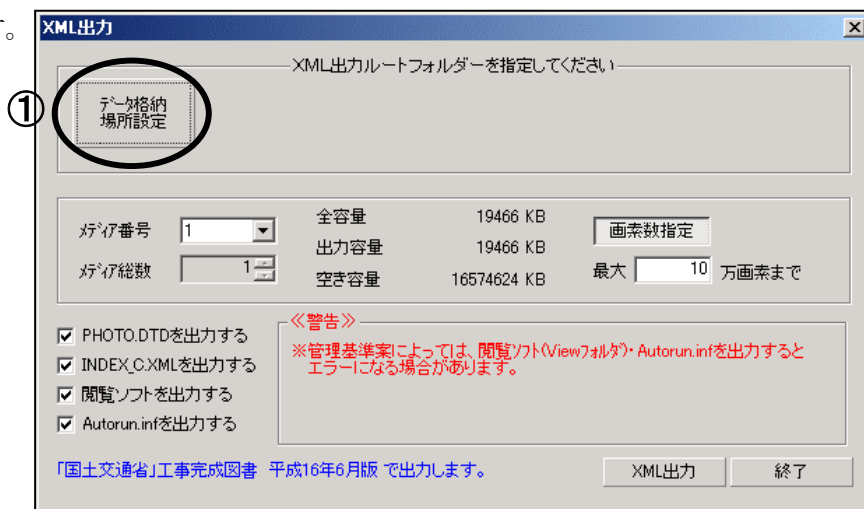
番号	汎用番号	写真ファイル名	メディア番号	写真:大分類	写真:小分類
1	1	00000006.JPG	1	工事	表層工:施工
2	2	00000010.JPG	1	工事	側溝蓋:施工
3	3	00000011.JPG	1	工事	側溝蓋:施工
4	4	00000009.JPG	1	工事	破損部分:施工
5	5	00000015.JPG	1	工事	側溝蓋:施工
6	6	00000016.JPG	1	工事	側溝蓋:施工
7	7	00000017.JPG	1	工事	破損部分:施工
8	8	00000014.JPG	1	工事	表層工:施工
9	9	00000019.JPG	2	工事	上層路盤工
10	10	00000020.JPG	2	工事	上層路盤工
11	11	00000002.JPG	2	工事	上層路盤工
12	12	00000001.JPG	2	工事	上層路盤工
13	13	00000004.JPG	2	工事	表層工:出来
14	14	00000003.JPG	2	工事	表層工:出来
15	15	00000008.JPG	2	工事	側溝蓋損検
16	16	00000007.JPG	2	工事	側溝蓋破損

2. XML出力を行う

ツールバーの [データ出力] - [XML出力] をクリックします。

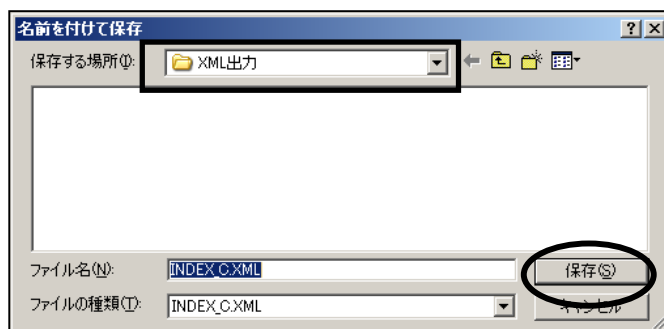


- ① 「XML出力」画面が表示されます。
[データ格納場所設定] を
クリックします。



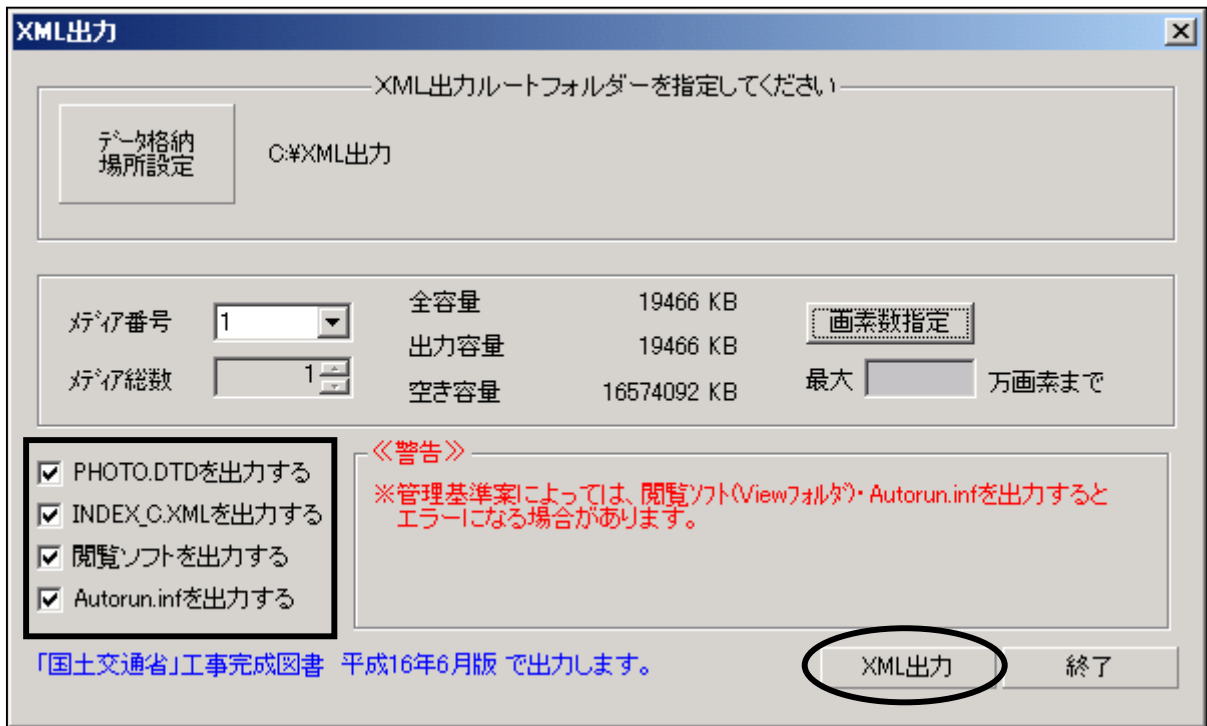
データの保存先を設定し、[保存] を
クリックします。

「XML出力」画面に戻ります。



出力先のフォルダに Disk1、Disk2 等のフォルダが作成され、その中に出力されます。
電子納品基準では CD 直下に XML データを出力する必要があるため、CD ドライブを
直接指定しないで下さい。(ハードディスクの任意の場所に出力して下さい。)

- ② 「PHOTO.DTDを出力する/閲覧ソフトを出力する/INDEX_C.XMLを出力する/閲覧ソフトを出力する/Autorun.infを出力する」等、必要な項目にチェックを付けます。
各設定が終わりましたら [XML 出力] をクリックして下さい。



②



- ・ PHOTO.DTD は出力した XML ファイルを Internet Explorer 等で見るときに必要なファイルです。
- ・ INDEX_C.XML は発注者が「電子納品、保管管理システム」を使用し、チェックする際に必要なファイルです。
- ・ 「閲覧ソフトを出力する」にチェックを付けると XML のファイルを開覧するソフトが同時に出力されます。「VIEW」フォルダの Plook.exe をダブルクリックして起動します。
- ・ Autorun.inf は、閲覧ソフトとセットです。XML 出力した媒体を挿入すると自動的に閲覧ソフトが起動します。

出力先のフォルダに Disk1、Disk2 等のフォルダが作成されます。
それぞれフォルダ内に出力された電子納品ファイルを CD へ書き込みを行って下さい。



Disk1、Disk2 等のフォルダごと CD へ書き込まず、必ず Disk1 等のフォルダ内のファイルを CD へ書き込むようにして下さい。

